

地域包括ケア、ビッグデータ、リアルワールドエビデンス、AI、IoT、  
ウェアラブルデバイス — OPD の概念を発表した 2011年から 6 年が経過し、  
ようやく OPD を実践できる環境が整いました。

# ブラックボックスだったMRの ディテールリングを可視化<sup>※</sup>して

わかった優秀な MR と凡庸な MR の違いを、  
本書の中で明らかにしています。  
優秀な MR は、OPD を実践していました。

※リープ・インサイト研究所の調査に基づくデータ

担当医薬品の **1つの“強み”だけで  
処方してくれる医師は  
ほとんどいません。**

OPD を実践する中で、  
2つ目、3つ目の強みを掘り起こすことにより、  
医師は自信を持って処方する気になります。

各項目に“ワーク”があり、

# 1年目のMRでもOPDを 実践できるように編集<sup>※</sup>しています。

1年目のMRからMSL級までのレベル別にOPD実践にあたって  
準備すべき内容を網羅しました。

目次は裏面へ▶▶▶



## One Patient Detailing 実践ガイドブック

監修 川越 満  
著者 高橋 洋明  
本体価格 1,944円 (税込・送料サービス)

2017年2/4より  
**オフィシャルサイトで  
予約受付開始**

コンサナリスト® オフィシャルサイトからご購入いただけます。  
書店及び、他サイトではご購入いただけません。

コンサナリスト® 川越 満 オフィシャルサイト

<https://consunalist.jp/>



## 序 章 地域包括ケア時代における OPD と 3 つのアウトカム

- 地域包括ケアは OPD への追い風になる
- 使う理由が1つでは処方してもらえない

## 第 1 章 ディテリングを可視化してわかった、“優秀な MR のディテリング” とは？

- ディテリングを評価するには、どうしたらいいのか？
- 優秀な MR は、ディテリングが“一貫”している。凡庸な MR は、ディテリングが“拡散”している
- 優秀な MR は、医師の“課題形成”をしている。凡庸な MR は、医師の“状況把握”で終わっている
- 優秀な MR は、“ポジショニング”を意識している。凡庸な MR は、“処方依頼”を意識している
- 優秀な MR のディテリングは、医師の満足度が高い。凡庸な MR のディテリングは、医師の満足度が低い

## 第 2 章 One Patient Detailing (OPD) の実践がもたらすものは何か？

- OPD は、MR として成長できるディテリング
- 疾患や患者さん／Dr の理解が深まる（学習と成長の視点）
  - ・患者さん／医師のニーズがわかる
  - ・自社医薬品が患者さんや医師に提供する“価値”が明確になる
  - ・継続性のあるディテリングができるようになる
- 自社製品の価値を最大化できる（業務プロセスの視点）
  - ・ディテリングでの価値の最大化
  - ・企画立案による価値の最大化
- 患者さん／医師の満足度が高まる（顧客の視点）
  - ・提供される情報の質が高まる
  - ・医師の中でポジショニングマップが明確になる、その製品を使うべき患者が明確になる
  - ・アウトカムの質が高まる
  - ・担当する医療機関を最適かつ適正に使用してもらえ、処方の脱落が防げる、最適症例への第一選択薬として処方され実績が伸びる
- MR として生き残っていける可能性が高まる（財務の視点）
  - ・医師からの評価が高まれば実績も伸び、会社からの評価も高まり、昇進昇給も狙える

## 第 3 章 OPD 実践にあたって準備すべきこと

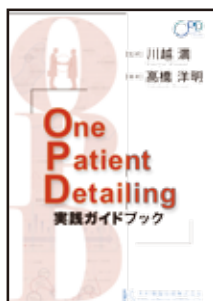
- レベル 1 新卒級
- レベル 2 開業医担当級
- レベル 3 中小病院担当級
- レベル 4 地域医療支援病院・特定機能病院担当級
- レベル 5 大学病院担当級
- レベル 6 製薬企業の学術・MSL 級

# One Patient Detailing

実践ガイドブック

## 目次

地域包括ケアとは、○○であるも絶賛販売中！



One Patient Detailing  
実践ガイドブック

2/4 から予約受付開始  
2/14 以降にお届け



地域包括ケアとは、  
○○である  
販売中

書籍の内容と連動した講演依頼も承っております。

右記 URL からお手続き・ご購入いただけます。

<https://consunalist.jp/>

